

海外安全対策情報（令和5年度第2四半期）

1 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 2023年7月～9月におけるパナマ市中心部の犯罪統計（暫定値）

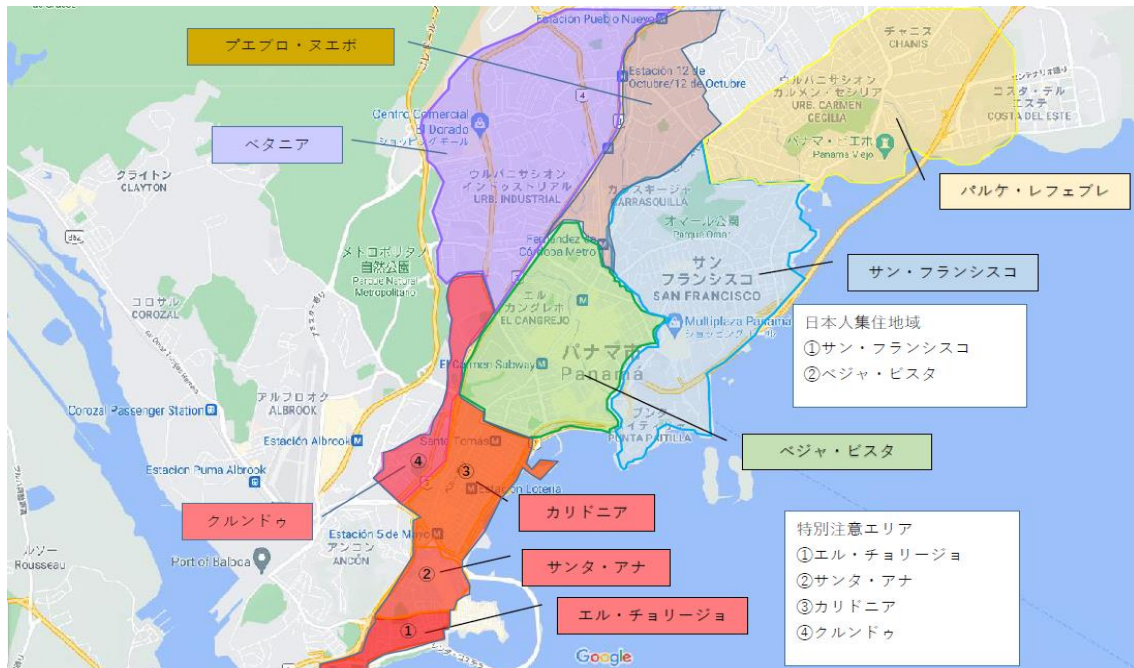
犯罪統計（2023年7～9月・パナマ市首都圏）

		合計	地区別								
			ベジャ・ピスタ	ベタニア	カリドニア	クルンドウ	エル・チヨリージョ	パルケ・レフェブレ	プエブロ・ヌエボ	サン・フランシスコ	サンタ・アナ
主要犯罪	殺人	7	0	2	1	1	1	0	0	1	1
	傷害	21	0	2	4	4	2	1	4	1	3
	強盗	65	10	19	5	1	1	7	9	5	8
	窃盗	105	25	31	5	1	1	11	9	20	2
その他	強姦	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0

（単位：件数）

出典：パナマ治安省国家犯罪統計機構（SIEC）

パナマ市首都圏地図



※特別注意エリア①エル・チョリージョ、②サンタ・アナ、③カリドニア、④クルンドゥにおいては、ギャングに関わる発砲事件や薬物関連の犯罪が多くなっています。これらの地域では犯罪に巻き込まれる可能性が高くなることから、立ち入りを避ける等、犯罪被害防止に心がけていただくようお願いいたします。

(2) パナマ市首都圏における事件

ア 7月18日(火)午後5時30分頃、パナマ市サンタ・アナ地区テラス・デ・アンコン・ビルにおいて、男性(32歳)が20発以上銃で撃たれ、横たわっているところを通報で駆けつけた警察によって発見された。被害者は、病院に搬送されるも数分後に死亡した。

イ 8月4日(金)午前10時30分頃、パナマ市セクター3(トクメン国際空港から北へ約2km)において、地域活動中の男性が銃を所持した複数人から銃撃を受け死亡。事件当時、被害者は麻薬関連で刑期中の身でありボランティア活動中であった。

ウ 8月19日(土)午後6時30分頃、サンミゲリート市ホセ・ドミンゴ・エスピナル地区ヴィジャ・グアダルペにおいて、路上で談笑していた男性は通りかかった1台の車から25発の銃撃を受け死亡した。近くに居た少年(11歳)も被弾したが軽傷だった。

エ 8月23日(水)午前9時頃、パナマ市プエブロ・ヌエボ地区のバンコヘネラル・バルケレフェブレ支店において、武装した5人が同銀行前に車両で乗り付け、現金約2万ドルを奪って車両で逃走。その後この事件の容疑者3人が国家警察によって逮捕

された。

オ 9月6日(水)午後7時頃、パナマ市プエブロ・ヌエボ地区15番通りのガソリンスタンドにおいて、男性2人が車両に乗った複数の者から発砲され、肩、太ももを銃で撃たれ負傷、もう一人は車両に轢かれ重症を負った。

カ 9月25日(月)午後8時30分頃、パナマ市サン・フランシスコ地区Calle77沿いのミニスーパー(アトラパ・コンベンションズ・センター付近)において、中国系男性がオートバイに乗った2人組の男から銃で複数回発砲され死亡した。

キ 9月28日(木)パナマ市サン・フランシスコ地区ヴィア・ポラスの銀行において、現金を引き出した男性(75歳)が徒歩で移動中、近づいてきた男から脅され現金を強奪された。その後、警察の捜索によって容疑者は逮捕された。

ク 9月29日(金)午後4時半頃、パナマ市プエブロ・ヌエボ地区の銀行バンコ・ヘネラル・オクトゥブレ12支店において、4人組の男が銀行の警備員を制圧し入口ドアのガラスをハンマーで叩き割り、カウンターから現金を奪って逃走。翌日、警察の捜査によって容疑者が逮捕された。

(3) 国内における麻薬の押収事例

ア 8月7日から8日の2日間にかけてコロン市バリオ・ノルテ地区、バリオ・スール地区で行われた治安当局の家宅捜索によって、違法薬物の疑いのある物質253包、銃器2丁、現金12万ドルを押収、パナマ人4名を拘束した。

イ 8月16日(水)コロン市内において、国家警察は国家移民局職員(25歳)が運転する車両内の2つのブリーフケースから違法薬物の疑いのある物質45包を押収した。運転していた移民局職員をコロン・クナ・ヤラ麻薬検察局に引き渡した。

ウ 8月28日(月)コロン県カリブ海の港湾ターミナルにおいて、治安当局は、ペルーとエクアドルから発送されたコンテナ内から違法薬物の疑いのある物質890包を押収した。コンテナの最終目的地はスペインのバルセロナ行きであった。

エ 9月17日(日)コロン市コスタ・アリバ地区サンタ・イサベルの海上において、航空海上保安隊は、3隻のボートから違法薬物の疑いのある1150包の物質を押収した。

2 邦人及び日本企業の安全対策

- (1) 犯罪被害に巻き込まれないためには、安全のための三原則である「目立たない」「行動を予知されない」「用心を怠らない」を常に念頭に置いて行動することが重要です。
- (2) 自動車運転中や道路を歩いているときに強盗被害に遭う可能性もあることから、屋外においては行動する時間帯や場所を考慮し、常に細心の注意を持って行動するようにしてください。
- (3) 当地における強盗事件のほとんどは、拳銃や刃物等の凶器が用いられ、犯人の要求

を拒否し抵抗、大声を上げる、逃げる等の犯人を刺激するような行為をした場合、殺傷される危険性が極めて高いことから、素直に犯人の要求に従うようにしてください。

(4) 車上荒らし対策として、たとえ短時間の駐車であっても車内に荷物を放置することのないようにしてください。犯人は様々な方法で被害者の隙をついて犯行に及ぶことから、所持品は常に肌身離さずに監視下に置くようにしてください。

(5) 当地における殺人事件の大半は、敵対するギャングや麻薬密売同士の対立抗争によるもので、特定の企業や外国人を攻撃対象としているものではありません。しかし、これらの抗争は時間と場所を選ばず発生することから、銃撃の流れ弾の被害に遭わないよう、十分注意する必要があります。

(6) 万が一、発砲事件の現場に遭遇した場合は、「現場から直ちに避難する」避難することができない場合は、「頭部を保護しながらその場でうつぶせに伏せる」「建物や堅牢な柱等の物陰に隠れる」を徹底いただき、まずは身の安全を確保するとともに、銃声が止み避難が可能と判断できるまでその場から動かない等の対策を取ってください。

3 殺人、凶悪犯罪等の事件

第2四半期中の邦人集住地区等における犯罪事例（殺人、殺人未遂、凶悪犯罪）なし。

4 テロ・爆弾事件発生状況

なし。

5 勧誘・脅迫事件発生状況

日本人の被害は報告されていない。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

なし。

(了)